

《どうでもいい話、その 603》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

ボランティアで通っている地元中学校 特別支援学級の美術の授業でネンド工作をした際、男子生徒が女性教師に「先生の顔を作る」と言うので「ベッピンさんに作りなさいよ」と言ったら「なにそれ！」と聞かれました。今の子供たちは「ベッピン」という言葉は知らないようで「美人に作りなさい」と言い直しました。また数学の時間に円の直径と半径を測る時、生徒に「ものさし持っている？」と聞くとこれも分からず「スケールだよ」これも分からず、結局これは“定規”でした。用語は時代とともに変化していきます。話しは変わりますが、最近犯罪事件が起こると警察は、犯行が行われた場所周辺の防犯カメラをチェックします。この防犯カメラはいまどこにでも設置されており、捜査に大いに役立っています。この「防犯カメラ・監視カメラ」も店舗などの中に設置されているものは、最近呼び名を変えています。店舗としては、お客様に対し「あんたら、万引きしたらカメラで防犯、監視しているからね」との印象を避けるため“見守りカメラ”“お客様カメラ”“安全カメラ”などと名前を変えています。まー、呼び名は変えても目的は変わりませんが・・・。

岩波より